

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

直近の決算日: 令和 7 年 3 月 31 日

1. 団体の概要

団体名	(公財) 長崎ミュージアム振興財團	設立目的、経緯及び根拠法	
設立年月日	平成16年1月17日	【設立目的】博物館及び博物館相当施設(以下、「博物館等」)の管理運営、展覧会事業及び博物館資料等に関する調査研究等を推進することにより、長崎で育まれた文化芸術を継承し、発展させるとともに、独創性のある新たな文化芸術の創造を促進し、もって魅力と活力に満ちた地域づくりに寄与することを目的とする。	
所在地等	〒 850-0862 長崎市出島町2番1号 TEL 095-833-2110 Fax 095-833-2115 E-Mail info@nagasaki-museum.jp	【経緯】 ・平成16年4月1日 長崎県美術館指定管理者指定(1期目) ・平成21年4月1日 長崎県美術館指定管理者指定(2期目) ・平成27年4月1日 長崎県美術館指定管理者指定(3期目) ・令和3年4月1日 長崎県美術館指定管理者指定(4期目) 【根拠法】 ・公益財団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律 ・長崎県美術館条例	
県所管課	文化観光国際部 文化振興・世界遺産課	定款等に定める事業	
資本金・ 基本金等の額 (千円)	主な出資者	出資額(千円)	比率(%)
	長崎県	7,500	100.00
			0.00
			0.00
			0.00
			0.00
	その他		0.00
	総 額	7,500	100.00
ホームページURL https://www.nagasaki-museum.jp			

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)

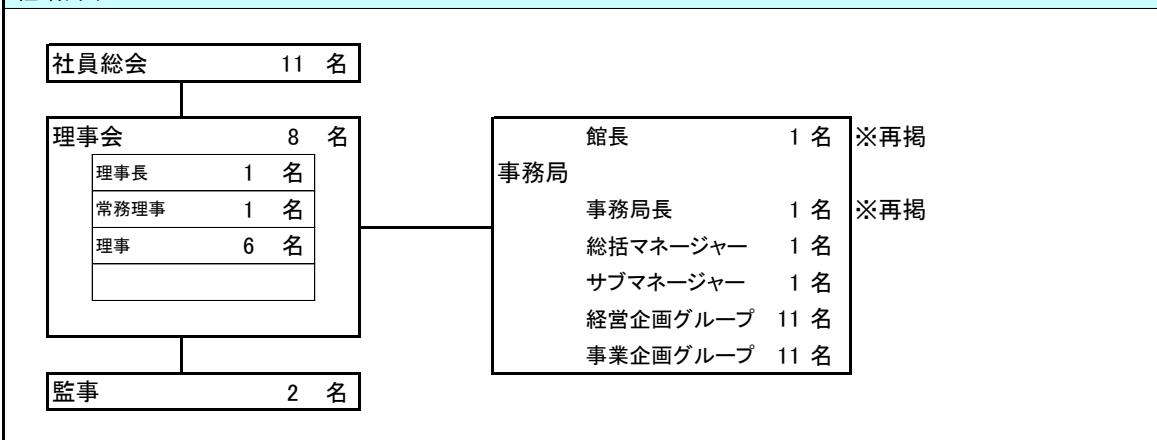
役員 (名)	区分		R4	R5	R6	プロパー	派遣県職員	兼務県職員	県OB	他自治体	民間	その他					
	常勤	2	2	2	2	2											
	非常勤	4	4	6								6					
合 計		6	6	8	2	0	0	0	0	0	0	6					
職員 (名)	R4	R5	正規職員 うち県OB		派遣 県職員	兼務 県職員	非正規職員 うち県OB		他自治体	民間	その他						
	26	25															
1人当たり人件費(年度推移)			R4		R5		R6		平均年齢		賞与月数						
常勤役員報酬年額(千円)			0		0		0		歳								
正規職員平均給料月額(千円)			244		243		241		45 歳		4 月						
1人当たり人件費(R6、年代別)			20代以下		30代		40代		50代		60代以上						
正規職員平均給料月額(千円)			179		203		232		304		358						
各年代別正規職員数(名)			2		6		7		6		3						
県からの常勤又は非常勤役員			県の役職				団体での役職				区分						
上記役員以外の顧問等																	
県派遣又は兼務職員			係長(学芸員)				事業企画グループ 学芸専門監				派遣						
			指導主事				事業企画グループ サブリーダー				派遣						

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)(続き)

組織図



3. 県財政負担の状況(千円)

〈当年度受入額〉		〈当年度末残高〉	
補助金		貸付金残高	
負担金	363,644	損失補償・債務保証残高	
委託料			
貸付金			
損失補償・債務保証額			
出資金			

4. 県の政策との関連性

1 政策目標

■特色ある文化資源・スポーツによる地域活性化

県内のどこにいても音楽や美術などの良質な芸術に触れられる機会の提供に取り組む

2 県との役割分担

県の役割	団体の役割
長崎県美術館の設立目的を達成するよう、運営の指導監督を行うとともに、運営に必要な負担金の支弁やその支出し状況の検査及び施設の(大規模)修繕等を行う。	美術資料の保存・修復、展覧会の企画・運営、生涯学習・教育普及事業の実施により、設置目的である地域の活性化及び芸術文化活動の拠点として、優れた美術作品の鑑賞及び学習の機会を提供するとともに、創作活動及び作品発表等の支援を通じて、生涯学習に対応した文化的環境の整備を図る。
団体に委ねる理由	説明
<input type="radio"/> 県が直接実施するよりも効果的・効率的に事業実施可能 <input type="radio"/> 県が直接実施することが困難 <input type="radio"/> その他	指定管理者が運営主体となることにより、スピード感のある運営が可能となり、県民ニーズの的確な把握から、それらの運営方針への迅速な反映が可能となる。 また、魅力的な企画展の開催のためには、展示計画の構築(マスコミや民間企業とタイアップや展示資料の借用交渉など)に複数年を要するため、指定管理者が主体となる事が望ましい。

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

3 事業実施状況					
事業名		事業概要	事業費(千円)	主な実績	事業の評価、今後の方向性
1	企画展事業	年間5本の企画展を開催	65,020	入館者数 75,265人 (計画比: 81.5%)	「収蔵品展」や「新収蔵品展」など、収蔵品でありながらも企画性の高い展覧会に取り組む一方で須磨コレクション、スペイン近代美術など、常設展ではおなじみの展覧会にも工夫を施し収蔵品の新たな価値の発信を図った。
2	コレクション展事業	所蔵品を中心に複数の小企画展を開催	23,128	入館者数 49,731人 (計画比: 124.3%)	ともに国内有数のスペイン美術のコレクションを誇る三重県立美術館と共同企画した「果てなきスペイン美術展」や、工芸に特化した「京都国立近代美術館巡回展」を開催し県民の文化振興に努めた。また「Junaid」展や「ブラック・ジャック展」など九州初開催の展覧会で県外客の誘致を図り、幅広い客層に訴えかける展覧会を開催した
3	教育普及事業	遠隔地での移動美術館や子どもむけワークショップ、学校向け鑑賞事業等を開催	4,586	スクールプログラム参加者7,600人 (計画比: 76.0%)	学校教育との連携事業であるスクールプログラムを実施したほか、移動美術館を実施し、遠隔地の方々へ美術作品に親しむ機会を提供した。(対馬市)ほかにも、美術館と学校等をウェブで結び、美術鑑賞等の教育プログラムを実施した。(佐世保市、対馬市)

【共通】

5. 中期経営計画等の進捗状況・事業目標の達成状況						◎ 達成 ○ 一部達成 × 未達成 - 未実施												
中期計画	No.	項目名	R6 実績	計画上の目標値				最終年度 (R8)	達成状況									
				R4	R5	R6	R7											
		総入館者数	267,135	360,000.0	380,000.0	380,000.0	380,000.0	380,000.0	×									
(目標値設定の根拠・考え方)																		
①	平成17~30年度の総入館者数の平均(約398,000人)を踏まえ、設定																	
	(翌年度に向けての改善事項等)																	
②	令和7年度は長崎県美術館開館20周年を迎えることから、スペイン美術を標榜する美術館として、ヨーロッパの近現代美術を本格的に紹介する大型企画展や地域住民にも足を運んでもらえるような魅力的な展覧会を開催し、県内の文化振興及び県内外客の来館を促進する。																	
	(目標値設定の根拠・考え方)																	
(翌年度に向けての改善事項等)																		
これまでの事業内容に加えて、コロナ禍でストップしていたアジアの美術館との連携と共同企画の実施を図る。																		
事業目標	No.	項目名	R4	R5	R6	備考												
	①	総入館者数(人)	(計画)	250,000	270,000	320,000	H22実績(約35万人)を基準値として、開館20周年のR7年度をピークに各年度目標達成を目指す。											
	②	来場者満足度(5段階)	(計画)	4.0	4.0	4.0	アンケート5段階評価における年間平均において、4.0以上の満足度を目指す。											
	③	県民ギャラリー稼働率(%)	(計画)	90	90	90	90%以上の稼働率を目指す。											
(県が期待する効果の実現)																		
評価結果				評価理由														
○	十分実現している			○令和6年度は、スペイン王立プラド美術館との交流など、長年にわたるスペイン美術の調査研究を行ってきたことが評価され、国内の美術館としては初となる「文民功労勲章 名誉の楯」をスペイン国王から授与されたほか、開館以来の来館者数700万人を達成した。 ○企画展、常設展では、美術館の特色である、スペイン美術、デザイン、長崎ゆかりの展覧会を開催する他、幅広い客層をターゲットとした展覧会もバランスよく開催した。 ○教育普及事業では、これまでのスクールプログラムや遠隔授業などこれまでの取組を継続して実施した。 ○施設貸出についても、県民ギャラリーの利用率は96%と好調であった。 ○この様な取組を実施したが、企画展で想定より入館者数が少なかったことなどから、結果として来館者は当初目標の32万人を下回る26万7千人となり、前年度実績も下回った。他方で、アンケートによる来館者満足度は5段階評価で4.4と目標値を上回っており、入館者には評価いただいているため、魅力の発信に務める必要があると考える。														
	概ね実現しているが未実現の部分がある			○経営面では、上述のとおり、企画展で想定を下回る結果となったほか、物価高騰による運営コストの上昇圧力はあるものの、経費縮減に努めたことや協賛金獲得に向けた尽力による当初比較増となったことから、約618万円の黒字計上となった。														
	実現できていない																	

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

〔計画達成状況の判定〕						
判定項目	評価基準				点数	
① 中期経営計画の策定	[2点]中期経営計画(計画期間3年以上)を策定している				2	
② 中期経営計画の目標達成	[1点]目標を1項目達成		[2点]2項目以上達成		-	
③ 事業目標の達成	[1点]事業目標を1項目達成		[2点]2項目以上達成		2	
④ 県が期待する効果の実現	[1点]効果を概ね実現している		[2点]十分実現している		2	
合計					6	

【公益法人会計基準適用法人用】 直近の決算日: 令和 7 年 3 月 31 日

6. 財務の状況 (単位:千円、%)

項目	R4		R5		R6	
	金額	対前年度比	金額	対前年度比	金額	対前年度比

【貸借対照表】

流動資産	100,219	142.81	105,972	105.74	84,809	80.03
うち金銭債権額	90,374	153.20	96,719	107.02	75,441	78.00
固定資産	46,711	121.97	49,403	105.76	49,017	99.22
基本財産	7,500	100.00	7,500	100.00	7,500	100.00
特定資産	39,211	127.32	41,903	106.87	41,517	99.08
その他固定資産	0	-	0	-	0	-
資産合計(A)	146,930	135.45	155,375	105.75	133,826	86.13
流動負債	86,994	153.84	79,175	91.01	49,623	62.68
うち短期借入金	10,000	100.00	0	0.00	0	-
固定負債	17,211	116.31	15,697	91.20	17,517	111.59
うち長期借入金	0	-	0	-	0	-
うち退職給付引当金	17,211	116.31	15,697	91.20	17,517	111.59
負債合計	104,205	146.05	94,872	91.04	67,140	70.77
指定正味財産	7,500	100.00	7,500	100.00	7,500	100.00
一般正味財産	35,225	118.90	53,002	150.47	59,186	111.67
正味財産合計(B)	42,725	115.08	60,502	141.61	66,686	110.22
団体債務保証額	0	-	0	-	0	-

【正味財産増減計算書】

経常収益(C)	508,892	107.01	512,741	100.76	488,707	95.31
うち受託事業収入	0	-	0	-	0	-
うち補助金収入	4,148	140.99	3,735	90.04	0	0.00
うち基本財産等運用益収入	1	100.00	1	100.00	1	100.00
うち自己収入(D)	133,975	117.29	149,005	111.22	125,043	83.92
うち県財政支出額(E)	370,768	103.46	360,000	97.10	363,644	101.01
経常費用	502,554	109.52	493,792	98.26	482,301	97.67
事業費	490,657	109.34	482,632	98.36	469,351	97.25
うち人件費(F)	173,848	101.67	183,730	105.68	184,997	100.69
管理費(G)	11,818	118.52	11,092	93.86	12,929	116.56
うち人件費(H)	8,881	119.69	8,216	92.51	9,920	120.74
当期経常増減額(I)	6,338	37.97	18,949	298.97	6,406	33.81
経常外損益	-739	106.79	-1,171	158.46	-222	18.96
当期一般正味財産増減額(J)	5,599	34.99	17,778	317.52	6,184	34.78
当期指定正味財産増減額(K)	0	-	0	-	0	-
(会計方針の変更による影響額)	0	-	0	-	0	-

【収支計算書等】

当期収入	508,892	107.01	512,741	100.76	488,706	95.31
当期支出	502,554	109.52	493,792	98.26	482,301	97.67
当期収支差額(L)	6,338	37.97	18,949	298.97	6,405	33.80
次期繰越収支差額(M)	42,725	115.08	60,502	141.61	66,686	110.22

【会計単位別】

	経常収益	経常費用	当期経常損益	当期収入	当期支出	当期収支差額
一般会計	12,929	12,929		12,929	12,929	
特別会計	475,778	469,372	6,406	475,778	469,372	6,406
合 計	488,707	482,301	6,406	488,707	482,301	6,406

各財務数値の増減理由及び各種引当金の設定状況等

物価高騰に伴う、運営経費の上昇圧力がある中でも経費削減を図り、魅力ある企画展、常設展の開催による観覧料増、ショッピング・カフェの収益確保を図った結果、年間収支は黒字を計上した。

各種引当金の設定状況等は下記のとおり。(単位:千円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	7,500	0	0	7,500
特定資産				
退職給付引当資産	17,902	1,819	2,205	17,516

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

判定項目		R4	R5		R6			点数
		数値・比率	数値・比率	対前年度比	数値・比率	対前年度比	対前々年度比	
①	当期経常増減額率(I/C)	1.25	3.70	296.73	1.31	35.47	105.25	-1.0
②	当期一般正味財産増減額率(J/C)	1.10	3.47	315.14	1.27	36.50	115.01	-1.0
③	当期指定正味財産増減額(K)	0	0		0			0.0
④	正味財産比率(B/A)	29.08	38.94	133.91	49.83	127.97	171.37	0.0
⑤	次期繰越収支差額(M)	42,725	60,502	141.61	66,686	110.22	156.08	0.0
⑥	県財政支出率(E/C)	72.86	70.21	96.37	74.41	105.98	102.13	-0.5
⑦	自己収入比率(D/C)	26.33	29.06	110.38	25.59	88.05	97.19	-0.5
⑧	管理費比率(G/C)	2.32	2.16	93.15	2.65	122.29	113.92	-1.5
合計								-4.5

※判定項目ごとに評価基準に基づき採点

【共通】

7. 経営内容及び事業活動についての総合判定

(団体の自己評価)

「計画達成状況」「財務状況」の合計点数	1.5	→	総合判定	B
5点以上:A 概ね良好		-5点以上~5点未満:B 改善の余地あり		-5点未満:C 一層の努力が必要

※事業活動・経営の努力・今後の課題及び改善事項等

- ・スペイン美術を標榜する美術館として、スペイン美術を本格的に紹介する企画展や、海外または県外からの観光客にも足を運んでもらえるような魅力的な展覧会を開催し、優れた美術作品の鑑賞機会の提供や交流人口の拡大に寄与するとともに、オンライン等も駆使し、子どもから大人まで、県内どこにいても良質な文化芸術に触れることのできる機会を提供していく。
- ・築後20年が経過し、施設の劣化に伴う不具合が頻発しており、維持管理費の増加が予想されるため、引き続き光熱水費や事務経費の削減に努めるとともに、予防保全型維持管理を前提として毎日の点検及び早期の修繕に取組み、建物や設備機器の長寿命化を図る。
- ・県民ギャラリーを中心とした施設貸出業務は、県民の文化活動の場として広く活用されるよう、引き続き県民の積極的な利用推進を図る。
- ・指定管理者の経営基盤の更なる安定化のため、積極的な広報・販促活動の実施により収入の確保と、経費縮減にも務める。ショップ事業では展覧会毎のイメージや客層に合せた商品ラインナップの充実強化を図るとともに、SNS等を活用した積極的な情報発信を行い、来館者の購買率向上に繋げ、カフェ事業ではコスト削減に取組みながら来館者のニーズに合ったテイクアウト可能な食事やスイーツメニューの提供、展覧会に合わせた商品開発を行うことで収支改善を図る。

(県の評価)

合計点数	1.5	※評価の内容、県評価での加点・減点、総合判定の理由
		(加点・減点を行う場合は、点数及び理由を具体的に記載ください。)
総合判定	B	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目標である来館者満足度と県民ギャラリー稼働率の2項目で目標達成している。 ・県が期待する効果についても評価理由記載のとおり、教育普及や常設・企画展の開催、経営努力による収支改善などが図られている。

(今後の県の関与の方針)

長崎県美術館の指定管理者として、令和3年4月1日から6年間、当財団を指定している。(第4期目)
今後も引き続き適正な指定管理業務が行われるよう指導監督を行っていくとともに、指定管理者管理運営負担金の支出や計画的な施設改修の実施により、長崎県美術館の円滑な運営を図る。